

満天星に触れし我らの生き残る

野本 京

高知県須崎市の陶芸家、竹本仁王山におうざんのお宅で吟行句会。茶人、俳人でもある彼の庭には真つ白な満天星どうだんつつじが満開だった。句会の仲間が歓声を上げた。仁王山自家製のどぶろくの他、真摯な歓待を受けた。当日頂いた茶碗は今も大切に使っている。

昭和五十九年作